



Flash News

三重大学

第103号

目次

- 三重大学公開全学FD「三重大学版初年次教育の展開と検証」(高等教育創造開発センター)
- 2月1日よりドクターヘリ運航開始(附属病院)
- 三重大学アカデミックフェア(学生総合支援センター)
- 甲賀流伴党二十一代目宗家の川上仁一氏(研究支援チーム)
- 共通教育後期授業「PBLセミナー」公开发表会(共通教育センター)
- 教育学部美術コース卒業制作展(教育学部)
- 人文学部シンポジウム「企業が求める人材と人文学部としての質の保証」(人文学部)
- 第10回三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀(伊賀研究拠点)
- 生物資源学研究所シンポジウム「2011年大災害に立ち向かった科学者達と大災害を振り返る」(生物資源学研究所)
- 第3回親&子どものサポートを考える会 子どもの成長をささえるために～さまざまなサインのとらえかた～(医学部)
- JICA(国際協力機構)研修生が来学(環境管理推進センター)
- 第5回市民公開講座「知ってほしい がんに対する放射線治療」(附属病院がんセンター)

ご報告

三重大学公開全学FD「三重大学版初年次教育の展開と検証」

2月23日、メディアホールにおいて、標記公開全学FDを開催しました。コメンテーターに、中部大学工学部の大西直之教授・教務部長および高田短期大学オフィス人材育成科の杉浦礼子准教授を迎え、学内および学外の教職員や企業から約60名が参加しました。内田淳正学長の開会挨拶の後、前半には、中川正学生総合支援担当副学長から基調講演、授業担当者から本学の初年次教育の取組みについて実践報告などがあり、後半には、テーマ毎にグループに分かれ、活発なディスカッションが行われました。最後に、田中晶善教育担当理事・副学長より閉会挨拶があり、盛況のうち終了しました。



田中教育担当理事・副学長

2月1日よりドクターヘリ運航開始



2月1日、医学部附属病院新病棟において、三重県ドクターヘリ運航開始式が執り行われ、運航が開始されました。ドクターヘリは、医学部附属病院と伊勢赤十字病院が基地病院として2ヶ月交代で運航します。救急隊からの要請を受けて出動し、患者を基地病院や最寄りの病院に搬送します。これにより、心臓発作や脳卒中、交通事故など、緊急に治療を行う必要がある重症患者が県内全域で約35分以内に医師の初期治療を受けることができます。さらに高度な医療が可能な病院への搬送も短時間でできるため、救命率の向上等が期待され、重症患者の転院にも活用されます。

三重大学アカデミックフェア

2月14日、共通教育校舎3号館において、アカデミックフェア2012を開催しました。アカデミックフェアは、学生による学習、研究、社会実践に至る幅広い活動の成果を親しみやすい形で紹介する機会として、市民の方々にも解放しています。成果発表ではポスター発表・口頭発表の形式で、共通教育、学部での専門教育、卒業研究に至る多様な報告が行われ、参加した約250名の学生は、先輩や仲間の発表を聞き、お互いに意見を交換しました。その後、交流会も催され、一般、学生・教職員合わせて120名を超える参加があり、交流を深める良い機会となりました。



1月

31日

甲賀流伴党二十一代目宗家の 川上仁一氏

伊賀流忍者博物館名誉館長でもある川上仁一氏を社会連携特任教授に迎えました。川上氏は、本学で忍者の奥義をベースに忍術学を創造していきます。



9日

人文学部シンポジウム「企業が求める人材と人文学部としての質の保証」

三重大学教育GP「人文系学部における質の保証のための具体的基準作り」事業として開催され、参加者約50名にとって有意義なシンポジウムとなりました。



12日

第3回親&子どものサポートを考える会

子どもの成長をささえるために～さまざまなサインのとらえかた～

成長する子どもに対する周囲の気づきや理解のあり方について、臨床心理士でスクールカウンセラーの講師とともに考える機会となりました。



ご報告

- 1/31 第6回三重大学定例記者懇談会を開催しました。〈総務チーム広報室〉
- 2/3 第2回東海地区国立大学法人事務連携協議会が開催されました。〈企画チーム〉
- 2/9 三重大学生による日本酒「三重大学」造りが開始されました。〈生物資源学部〉
- 2/18～19 環境ISO学生委員会が東京ビッグサイトにて開催された「低炭素杯2012」（主催：低炭素杯実行委員会）に出場しました。〈環境管理推進センター〉
- 2/25～26 平成24年度個別学力検査（一般入試）前期日程が実施されました。〈入試チーム〉
- 2/29 鈴鹿医療科学大学との連携協議会が開催されました。〈総務チーム〉

2月

1日

共通教育後期授業 「PBLセミナー」 公開発表会

標記セミナーは、学生の能動的な自己学習とグループワークを重視しています。今回は5セミナーの代表グループによる学習成果発表と質疑が行われました。



9日

第10回三重大学発産学官連携 セミナー in伊賀

「災害時の医療と今後の対応～災害時の高齢者医療～」と題した講演や伊賀研究拠点の活動報告、上野高校のSPP成果発表が行われ、約160名が参加しました。



16日

JICA（国際協力機構）研修生が来学

「循環型社会形成促進のための廃棄物管理」について日本の技術や教育方法を学ぶため、ベネズエラから8名の研修生が本学を訪れました。



8日

教育学部美術コース卒業制作展

県立美術館において、美術教育コースの学生が卒業研究として制作した学びの集大成となる作品を毎年展示しており、今年は7人の作品が発表されました。



11日

生物資源学研究科シンポジウム「2011年大災害に立ち向かった科学者達と大災害を振り返る」

標記シンポジウムにより、地震・津波・気象教育に不可欠である高校地学の履修状況の少なさなど防災教育の現状や課題が浮き彫りにされました。



25日

第5回市民公開講座「知ってほしいがんに対する放射線治療」

標記市民公開講座が三重県総合文化センターにおいて開催されました。参加した約600名は特別講演など熱心に聴講していました。

